



2009年度オープンキャンパス開催される

教授 木村 健二 (学部長)

7月11日(土)13時から15時30分、7月25日(土)9時30分から15時30分と2日に分けて3回のオープンキャンパスが開催されました。11日は模擬試験と重なるなかで94名の参加をみ、25日は早朝の大雨のなかで359名の参加をみ、合計453名の高校生・留学生そして保護者が集まりました。

催しは、各回ごとに、B棟で学生生活・カリキュラム・入試・就職関係の全体説明会、経済学科・国際商学科に関わる模擬授業、A棟で英語・中国語・朝鮮語に関する模擬海外研修、体育館で入試・キャリア・地域共創・海外留学関係の個別相談、そして図書館・研究室などへの学内ツアーが行われ、合間に生協食堂でランチも試食してもらいました。

平成23年度創設予定の新学科(公共マネジメント学科)のことや、公務員受験対策、具体的会社名をあげての就職対策、学生寮の有無、学科の特徴などについて熱心な質問がなされ、またアンケートもたくさんの人に回答していただき、資格関係の勉強意欲の高さなどがうかがえました。こうした結果をふまえ、来年度はさらに満足していただける内容にしていきたいと考えています。



就職特集

2ページより、就職支援体制、スケジュール、体験談

キャリアCaféオープン

キャリアセンターでは、学生が気軽に立ち寄り、コーヒーを片手に自分の将来を仲間と語り合うことを目的に、ドリンクサーバーを設置しました。

就職相談室からキャリアセンターに衣替えをして2年目、就職活動に不可欠なマナーや知識を身に付ける講座の数々、豊富な求人情報、そして、疑問や悩みを耳を傾ける専門のスタッフなど、これまでもさまざまなメニューを用意してきめ細かなサポートを行ってきました。経済状況とも相まって、不安定になりがちなメンタル面を少しでも和らげようと、センターでは穏やかなBGMを流し、心の休まる雰囲気を心掛けています。

今年度は、就活の合間に「ホッと一息」できるよう、コーヒーを中心に、紅茶や緑茶など10種類以上のフレーバーを楽しめる空間を加えました。ぜひ、気楽に立ち寄って味わって下さい。就職活動が苦味から旨味に変わる日を楽しみにしています。



2009合同就職面接会

日 時：平成21年10月10日土曜日
10:00～17:00
場 所：海峡メッセ下関4F イベントホール
主 催：下関市立大学
後 援：山口県
対 象 者：2010年3月卒業予定者
参加企業：下関市立大学HPに掲載

就職特集

高実績を生む「充実した就職支援体制」

教授 森 幸弘 (キャリア委員会委員長)
上野 恵美 (キャリアセンター長)

本学の就職支援実績は、全国の国公立大学に関する調査結果において、常に極めて高いランクに位置づけられている。以下の表は、過去10年間の就職内定率の推移を示している。周知のように、90年代後半から2000年代前半は、我が国の実質GDP成長率がG7諸国中最低水準に落ち込んでおり、失業率も80年代前半との比較では大きく上昇していた。このような厳しい経済環境下においても、本学の就職決定率は、一貫して高水準を維持し続けてきた(1999年は全国のすべての大学で大幅にダウン)。とりわけ2008年度における本学の就職決定率の高さは、内外から大きな注目を集めることとなった。秋以降、サブプライムローン問題に端を発した米国発の金融危機により、雇用環境も著しく悪化してきたなか、学生の前向きな努力、きめ細やかなキャリア教育・就職支援活動の賜物であろうと考えられる。



本学では、2008年4月1日、就職相談室を改組し設立したキャリアセンターを中心として、キャリア教育に本格的に取り組んでいる。キャリアセンターでは、学生一人ひとりが「キャリア」を主体的に設計し、自信をもって就職活動にのぞんでいけるように、さまざまな進路・就職支援メニューを用意している。「キャリア教育」の企画と実施、就職活動に向けたガイダンス、学生のニーズに応じた各種対策講座や学内企業研究会の開催、3年生全員に対する個別就職面談の実施など、学生一人ひとりに

対してきめ細かいサポートを行っている。

本学のキャリア教育は、「キャリアデザイン」「就職力開発」及び「インターンシップ」から成り立っている。2年次の「キャリアデザイン」でキャリアを主体的に考える力を養い、就職活動を間近に控えた3年次には、「就職力開発」と「インターンシップ」で実践的な「就職力」を身につける、というように段階的で系統立った教育を心がけている。

本学キャリアセンターでは、常駐している専門スタッフが学生の進路相談や要望に応える体制が整っている。4000件にも及ぶ企業ファイルや豊富な求人情報などの各種の資料を提供するほか、学生が自由に使用できるPCを設置し、インターネットでリアルタイムに企業の情報を知ることもできる。

また、学生と教員とがアットホームな雰囲気のなかで接することができるのも、小規模大学である本学ならではのメリットである。キャリアセンターでは、学生の「将来何をしたいのかわからない」という漠然とした悩みから、応募書類の作成や面接といった就職活動に直結する具体的な相談まで、キャリアカウンセラーの資格を持ったスタッフとともに、教員が就職相談員として親身になって対応している。

今日まで本学の就職実績が高く評価されてきた要因のひとつとして、卒業生の活躍もあげておかねばならない。各業界において日々仕事に取り組む卒業生の真摯な姿勢が、本学への大きな信頼につながっている。毎年合同企業研究会等に参加をいただいている企業をはじめとして、150社以上の企業人事担当者に本学を訪ねて来ていただけていることは、「卒業生の頑張り」の証左でもある。卒業生が本学在学生の就職支援の一助となってくれていることを、あらためて記しておきたい。



就職内定率の推移

年度	就職希望者(人)					就職決定者(人)					就職決定率(%)				
	経済		国商		計	経済		国商		計	経済		国商		計
	男	女	男	女		男	女	男	女		男	女			
1999	148	58	92	97	395	113	47	71	75	306	76.35	81.03	77.17	77.32	77.47
2000	137	67	102	100	406	115	56	91	83	345	83.94	83.58	89.22	83.00	84.98
2001	144	56	111	104	415	122	52	86	95	355	84.72	92.86	77.48	91.35	85.54
2002	135	61	109	110	415	123	52	89	100	364	91.11	85.25	81.65	90.91	87.71
2003	147	45	95	97	384	135	37	85	90	347	91.84	82.22	89.47	92.78	90.36
2004	120	51	91	102	364	111	48	86	98	343	92.50	94.12	94.51	96.08	94.23
2005	126	54	106	102	388	119	49	104	95	367	94.44	90.74	98.11	93.14	94.59
2006	147	57	122	89	415	139	53	118	87	397	94.56	92.98	96.72	97.75	95.66
2007	134	60	98	144	436	129	59	98	140	426	96.27	98.33	100.00	97.22	97.71
2008	117	47	110	98	372	115	44	108	94	361	98.29	93.62	98.18	95.92	97.04

「就職に強い大学」(読売新聞社)の調査による大学就職率(就職決定者÷(卒業[修了]者総数-進学者数)×100)調査では、就職決定者数300人以上の全大学において全国68位、学部別では、経済学部で10位という好成績となっている。

大学主催インターンシップで就業体験学習

准教授 松本 義之 (キャリア委員会副委員長)

本学キャリアセンターでは、学生のキャリア教育の一環として、インターンシップによる就業体験学習を行っています。インターンシップに参加した学生は、様々な事業体において貴重な就業体験を得ることができ、それを大学内での教育・研究に生かすことができます。また、学生の職業意識を育成し、就職活動において適切な職業選択ができるようになります。

大学主催でインターンシップが行われるようになってから9年目になりますが、参加学生は年々増加傾向にあります。また、昨年度からは海外の事業体に学生を派遣する国際インターンシップも始まり、質・量の両面での充実を図っています。今年度は学内インターンシップとして、国内29事業体に対して62名の学生、海外4事業体に対して6名の学生を派遣することができました。

大学主催のインターンシップであるため、派遣前に学内で事前学習を行います。インターンシップを行った後も、報告書の作成指導・報告会での発表など、様々な面から学生の就業体験をフォローする体制を整えています。また、キャリア教育科目として単位認定されます。

インターンシップに参加して(西中国信用金庫)

国際商学科3年 西本 有里



私が西中国信用金庫のインターンシップに参加した動機は、金融業界に就職したいという思いがあるからだ。しかし、今の自分の知識では知らない部分のほうが多く、インターンシップを通して実際に体験することで理解を深め、本当に自分に向いている職業なのか見極める機会にもしたかった。

研修は5日間行われ、社会人としての心構えや各部署からの業務説明を伺ったり、営業店で、2日間研修も行った。業務説明では各部署から詳しく説明を受け、それ以外にも社会人として大切なことを学ばせていただいた。それは、挨拶と笑顔である。すべての始まりは挨拶であり、しっかり大きな声で挨拶できなければ社会には通用しない。笑顔は社員やお客様に笑顔で接することで相手を喜ばせたり、また来店したいと思わせることができる。そこから信頼関係を築くことができる。西中国信用金庫は限られた地域で経営されているため、地域の方々や中小企業との関わりが密接になってくる。そのため、お客様から信頼を得ることが仕事であり、そこからお客様と一緒に地域を発展させていくことが企業の役割であると教えていただいた。営業店ではまず、朝礼に参加し、「いらっしゃいませ」「お待たせいたしました」「ありがとうございます」などの声出しの練習をした。その後、窓口業務やオペレーション操作を実際に体験することができた。

職員の方々がとても親切で、どんな疑問にも分かりやすく答えてくださった。その中で、私は職員の方の仕事に対する知識の豊富さと熱意が感じられた。また、職場の雰囲気がとても良く、笑顔で楽しそうに仕事をされている職員の方ばかりで仕事に対する姿勢がすばらしく見えた。

私は今回のインターンシップを通して、金融業について多くの知識を得ることができたと同時に、企業で働く社員一人一人が仕事に対して企業の看板を背負うような強い責任感と誇りを持っていることを実際の現場で身近に触れることができた。今後の就職活動では、インターンシップで学んだことを生かし、自分の道を切り開けるよう挑戦していきたい。

インターンシップ派遣先

【国内インターンシップ】

環境みらい下関、北九州勤労青少年福祉公社、北九州市立大学、コープやまぐち、コミュニティエフエム下関、サンデン旅行、下関グランドホテル、下関公営施設管理公社、下関市観光振興課、下関市観光施設課、下関市港湾局、下関市上下水道局、下関市商工振興課、下関市水産課、下関市道路管理課、下関市立大学生協、下関社会福祉協議会、下関商工会議所、下関大丸、下関農業協同組合、シーモール商事、ナフコ、西中国信用金庫、日本生命保険、日本トイザラス、日本旅行、三菱化学物流、みなと山口合同新聞社、安岡病院 (29事業体)

【国際インターンシップ】

関光汽船株式会社、青島永旺東泰商業有限公司、三井物産(青島)有限公司、三菱商事(青島)有限公司 (4事業体 全て中国青島市)

平成21年度キャリアセンター年間スケジュール(3年生)

4月	*就職相談 (4月から随時 予約制)
5月	自分とは何かを考えよう ●第1回就職ガイダンス・今から始める就職活動 ・一般常識テスト / 適性検査受検会 *R-CAP受検*資格取得ガイダンス
6月	業界を知ろう *エアラインセミナー*R-CAP解説会
7月	●第2回就職ガイダンス・4年生内定者を囲んで ・SPI2-U受検会・解説会*マイナビ使い方講習会
夏休み	インターンシップを通じて「職業」を知ろう ・国内インターンシップ・国際インターンシップ
10月	就職活動 準備月間 ●就職基礎講座 1 就職活動の全体像 2 強み診断テスト受検会 3 自己分析 4 業界研究 5 自己PR・志望動機 6 応募書類の書き方 7 GD対策 8 面接対策 9 強み診断テスト解説会 10 日経新聞活用講座 *リクナビ・マイナビ使い方講習会*ジョブスタディ
11月	●第3回就職ガイダンス・これから始める就職活動 ・CAB/GAB受検会 ●就活直前勉強会 1 自己PR作成道場 2 リクルートメイクアップ講座 3 リクルートスーツの着こなし講座 ●学内個別企業研究会 (1日より随時) ●学内合同企業研究会 (16日・19日・20日) *合同企業説明会へのバス運行 (11月大阪、12月福岡) *エアラインセミナー *女子学生のための働くことなんでも相談しよう会
12月	就職活動 ホップ月間 ●就活ゼミ【エントリーシート対策】 ●3年生全学生対象「就職個人面談」
1月	就職活動 ステップ月間 ●第4回就職ガイダンス「就職活動のマナー」 ・就職実践模試Start受検会 ●就活ゼミ「エントリーシート対策」
2月	就職活動 ジャンプ月間 ●就活ゼミ「面接・GD対策」

就職特集

就職活動を振り返って



経済学科4年 阿久根 拓真
(みずほ情報総研株式会社内定)

就職活動を振り返ってまず感じたのは、月日が経つのは早いという事でした。就職活動を始めてからは、毎日のように履歴書の作成や企業の説明会・選考に追われてゆっくり過ごす暇もなく、あっという間に4月になってしまったという感じでした。特に年明けからは、説明会の数も増えて、1日に何社も回ったり、県外まで参加しに行ったりと体力的に辛くなるので、まず先輩の皆さんには体調管理をしっかり行って万全の状態就職活動に臨んで欲しいと思います。

また、出来るだけ早い時期に自分の将来について考えて欲しいと思います。早い時期から自分に適した職業が明確になっていると、就職活動の方向性を決めやすくなり、志望動機や業界研究もより具体的に深めていくことが出来ます。まずは学内説明会や学外の合同説明会に参加して色々な業界の話聞いてみて下さい。その中で自分に適した職業を見つけ出すといいと思います。

早め早めに物事に取り組む事もとても大切です。とくに履歴書は企業毎に書く必要があり、時間が掛かるので、空いている時間を有効に使って早めに取り組んだほうがいいと思います。私自身、ギリギリまで履歴書を後回しにしたために提出期限間に合わず、志望度の高かった企業が受けられずものすごく後悔した経験があります。後悔しないためにも期限までに余裕を持って取り組んで下さい。

最後に、自分に自信を持って前向きに就職活動に取り組んで欲しいと私は思います。結果が出ず、辛いときもあると思いますが、そこで挫折してしまったらその先もいい結果は出せませんが、次は頑張ろう、自分ならいい結果が出せる。と自信を持って前向きな姿勢で取り組むことが大切です。

就職活動は自分の一生を決めるととても大事なものです。だからこそ妥協せず、全力で頑張ってください。ベストを尽くすこと、それが内定、そしてその先の人生を勝ち取る一番の近道だと思います。



経済学科4年 有馬 一弘
(株式会社日本政策金融公庫内定)

私が就職活動を始めたのは、10月に入ってからでした。2年生の頃から力を入れていた読書を武器にして戦おうと思い、週5冊のペースで本を読み始めました。本を読んでいると自分の考えや気持ちの変化が分かるため、自己分析にはもってこいでした。市販の自己分析の本では、過去に自分が何をしてきたのか、そして大学時代に何をしたのかというような「事実」は振り返れますが、昔の自分が何を考えていたのか、今の考えとどう違うのかは見えにくいと思います。しかし読書に関しては、以前読んだ本を読み返してみると著者の意見に対する自分の考えが変わっていることが多く、自分の心の変化にも気づくことができるのです。みなさんもぜひ自己分析の本と読書を組み合わせる自分なりの自己分析を行ってほ

しいと思います。

私が実際に就職試験を受けたのは、12月の後半でした。一般的に試験開始時期が早いといわれている人材業界の会社です。都会の学生と闘っていくためには、より多くの経験を積むことが必要であると考え、練習の意味もこめて人材業界の試験を受けました。周りの友人が就職活動を始めるころには、だいぶ面接にも慣れていたので、友人にアドバイスすることもできました。練習の意味でも開始時期の早い人材業界を受けることをおすすめします。

実際に面接を受けて感じた事は、面接だからと言って力むのではなく普段の自分を出すしかないという事です。面接の時だけ嘘の自分を演出しても、面接官はプロなのですぐに見抜かれます。大事な事は普段から自分自身に足りないところは何であるかを意識し、向上心をもって生活することだと思います。これから就職活動を受ける皆さんには、面接官の前に出て恥ずかしくないような自分づくりに励んでほしいと思います。

就職試験では面接だけでなく、履歴書やエントリーシートも重要になってきます。誤字脱字はもちろん、文字の大きさ、強調したいところは太字にするなど、見やすい書き方をすることが重要になってきます。内容は人と違うことを書くのではなく「自分らしさ」を出すことが大事です。人と同じことをしてきたとしても、その感じ方は人それぞれで、あなたにしかない感じ方があるはずで、これは就職活動にもいえることで、人と同じやり方で就職活動を行う必要はありません。みなさんが私の活動方法を見て、自分なりの活動方法を見つけてくれれば幸いです。

卒業生からメッセージ



2008年度経済学科卒 泉廣 佳美
(東京海上日動火災保険株式会社)

1. 就職活動への思い入れ

私は、就職活動に対する思い入れは強かったです。大学2年生の12月から就職活動を始め、興味のない業界も合同説明会やセミナーを通してみてきました。また、キャリアセンターや就職しよう会で企画して下さった就職活動対策講座に積極的に参加しました。3年生の12月から就職活動が本格的になり2月には1日2件の企業訪問が日常になり、体力的にも精神的にも辛いこともありましたが、沢山の人と出会い、自分を見つめなおすことで成長することができました。自分自身の努力と周りの人の支えや応援のおかげで納得のいく就職活動ができ、自信にも繋がり、人生の糧となりました。

2. 社会人になって

自分のやりたい仕事に就けたので充実した日々を送っています。しかし、楽しいことばかりではなく、辛いこともあります。社会では連帯責任で、失敗は私1人の責任ではなく、会社の責任となります。お客様からは、新人か否かに関係なく経験豊富な方と同じ質を求められ、出来て当たり前で言い訳は通用しません。このように、学生時代までにはなかった責任の大きさや苦勞を感じることもあります。就職活動で努力してきた日々を思い返すと、明日も頑張ろうと力が湧いてきます。

3. 現役生へのメッセージ

就職活動は自分自身を見つめなおす貴重な時間でもあり、人との出会いの中で成長することができます。就職をして辛いことがあっても就職活動で努力してきたことを考えれば乗り越えられます。就職活動で時間もお金もかかるとは思います。将来の自分への投資だと思ってください。また、大学生活では時間に余裕があります。勉強は勿論のこと、しっかりと遊び、サークルやアルバイトに励み、学生にしかできないことをしてください。社会人になると時間に余裕がなく、友人と休みもあわなくなります。学生時代でやり残したことがないよう、時間を有効に使い学生生活を楽しんでください。



2008年度国際商学科卒 戸田 周治
(福岡国税局 国税専門官)

私は、下関で本当に充実した4年間を過ごすことができました。市大で出会った友人、教授、職員の方々、先輩、後輩の皆さん、ありがとうございました！市大生であったことを誇りに思っております。

さて、私は大学3年生の10月頃、「国税専門官に絶対になる」と決めました。しかし、本格的に勉強を開始したのはその年の12月で、本番まで約半年という時期でした。短期間で合格するには何をすべきかを常に意識し勉強しました。民間企業に内定をしていく友人を正直、羨ましくも思いましたが、「自分はこの道でいく！絶対に自分は大丈夫だ！」という強い気持ちをもって勉強を続けました。そして、何とか最終合格し、内定をいただきました。

私がこの経験を通し感じたことは、夢は必ず叶うということです。ありきたりな言葉ですが、粘り強く努力すればその想いは必ず実現します！自分の夢を諦めないでください！！私はもともと物覚えが悪く、頭の回転も悪く、勉強を始めた当初はとても国税専門官の試験に受かる力はありませんでした。お前が受かるわけないやろ、と言われたりもしました。しかし、自分の可能性を信じ突き進みました。人にどうこう言われようが自分の信念は貫くべきだと思います。人は人、自分は自分です。

私は、現在佐賀に配属され働いております。毎日失敗してばかりです。しかし、税法を駆使して行う仕事に大変やりがいを感じています。今まで出会った皆さんのおかげで私は働かせていただいている、勉強させていただいているという感謝の気持ちを忘れず、今後も頑張っていきます！皆さんの夢が叶うことを願っております！Yes, You Can！



1998年度経済学科卒
2001年度大学院卒 宮田 高
(外務省アジア太平洋局)

我々は、グローバル化という世界の潮流を無視して生きていくことはできません。そのためにも、学生時代には「多様性」を身につけることが重要だと思います。我々日本人は、島国に住んでいることもあり、異なった文化の人たちや国際社会に関しての理解という点では、大陸に住む人々以上に努力が必要です。ましてや、日本の価値観や文化のみではきっと自らを省み、ほかの異なった文化の人々に関しての真の理解は難しいかもしれません。学生時代に、いろいろな

本を読んで勉強し、国内外に積極的に出向き、多くの文化や考え方を吸収することは、多様性を身につける上で有益だと考えます。

働くとは、「他者と結び合う試み」とある知識人が言っていました。現代生活においては、メールや携帯電話などの普及に伴い、顔を突き合わせて話をする機会が減り、人間関係が希薄化しているように思います。しかし、実際に仕事を通じて感じることは、多くの人達からの協力や支援の有り難さです。学生時代は、大学の先生方や仲間などとの交流を深め、様々な考え方を吸収することができる絶好の機会です。下関のこと、日本のこと、そして世界のこと、視野を広げて貪欲に学んで欲しいと思います。

就職しよう会 ～就活を支え合う～

代表 六尾 香織 (経済学科3年)

就職しよう会は、「地方大学であることを理由とした情報・距離などのハンディキャップに負けず、就職に対して意識を高く持つていこう！」という学生が集まり結成された、キャリアセンター直轄の就職支援団体です。

去年の活動では大学生協と連携して作り上げた、市大生の為の就職支援雑誌「ふくふく就活vol.2」を発行し、多くの学生に市大生の生の就活の現状を見ていただく機会を設けることに成功しました。他にも就活を終えた4年生が行う「模擬面接会」や、お昼休みの空いた時間での就職相談「ランチde就活」といったユニークなイベントを数多く行いました。また市大の卒業生に学校まで来ていただき座談会形式で実際の仕事について生の声を聞く「逆OB訪問」などあくまで学生の目線を大事にしています。



この団体は今年で結成3年目です。元々は就職活動を終えてすぐの4年生が、先輩や仲間と一緒に就職活動を成功させられるように支援したいと立ち上げられたものです。就活を終えた先輩とこれから就活に挑む後輩を繋ぎ、サークルや学年などの枠組みに捉われず、学校全体が一丸となって就活に挑めることを目標にしています。また、誰もが抱える就活の不安を相談したり、高い意識を持つ生徒が集まり活動することで、自分たちのやりたい事をキャリアセンターと連動して企画する事ができます。

今年度もイベントを中心に、いろいろなカタチで市大生の力になれるものを企画していきたいと考えています。



現代GPプレゼンテーションコンペ

本学が取り組んでいる教育プログラム、現代GPの一環として、3年生を中心とする演習ゼミ生(チューター)が1年生基礎演習のTA (Teaching Assistant) を行っています。

7月16日(木)、日頃の学習成果を発表するため、基礎演習ゼミ対抗のプレゼンテーションコンペを行い、厳正な審査の結果、佐々木ゼミが優勝しました。

● 参加基礎ゼミの各テーマタイトル ●

浅野ゼミ：観光～中国人をターゲットにした下関の観光戦略
 加来ゼミ：人間とカラスの共存～悪いイメージは払拭できるか
 佐々木ゼミ：SAVE～ソーラーパネルで創る市大の未来
 佐藤ゼミ：下関のB級グルメ
 下田ゼミ：武久川の汚染問題
 素川ゼミ：自転車の有用性を考える
 高田ゼミ：Buchiuma！ヤッパリ唐戸っちゃ♪
 武井ゼミ：エコデート
 難波ゼミ：学校へ行こう

1年生の能力を引き出すことが優勝に直結

佐々木基礎ゼミ チューター一同



私達はこの活動を行う上で2つのことをコンセプトに置きました。1つは教える側の3年生が主役にならず、全体の流れやプレゼン方法については指導を行うが、テーマ決定から人選まですべて1年生の自主性を尊重していくこと。もう1つはこの活動を通して1年生に何かしらの達成感や気づきを与えられるものを目指す、というものです。

コンペのテーマ決定においては、最初に担当教員の佐々木先生の授業内容に沿って、自然環境や環境問題の内容からそれぞれが興味を持ったものを4人編成の4チームで調べさせました。最終的にプレゼンコンペで発表したいテーマとコンペメンバーの人選を匿名性のある投票ではなく、全員の発言と多数決によって決定させました。選ばれることのなかった学生全員にも「客観的に見て、自分たちが考える最高のテーマと最高のメンバー」を自ら選んだことで、ある種の責任感と全員で取り組むものであるという連帯感のようなものを生み出したのではないかと考えています。

ワークショップでは、1回目は議論する楽しさを、2回目はチームを変え議論が凝り固まることを防ぎ、さらに結論の精度と発表のスキルアップを意識させました。具体的にはアイスブレイキング(議論するメンバー同士の心の壁を取り除いていく作業)を入念に行い、出来る限り発言しやすい雰囲気作りを心がけ、議論テーマにおいても1年生の視点に立ち興味関心のあるテーマ決定を意識しました。この結果チューターの想定を覆すよう

なおもしろい結論やレベルの高い発表をする学生が出現し、1年生の吸収力と応用力の高さに驚かされました。

以上すべての経験が、プレゼンコンペの優勝に繋がったと実感しています。活動を通してチューター自身も、いかにしてやる気を引き出すか、パワーポイント指導も含めて教えることの難しさなどを学び得ることができました。また、議論する機会があまり多くない市大において、このような経験を1年生のうちに味わえるプレゼンコンペはとても貴重な体験であり、ぜひ市大の新たな伝統として未来に繋げていって欲しいと強く願っています！

第40回下関市立大学英语弁論大会を終えて

実行委員長 吉村 知恵(国際商学科3年)

6月27日(土)、第40回下関市立大学英语弁論大会が開催された。大会は2部構成となっており、前半は『Prepared Speech』と呼ばれ、事前に作成したスピーチを暗唱する。後半は、その場で与えられたテーマについて15分間で作成した即席のスピーチを4分間で行う『Extemporaneous Speech』。この二つの得点を合わせて審査が行われる。今回は関東、関西、中国、四国、九州地方から11大学12名が出場した。発音、暗記、構成など、どの出場者も十分に準備できており、大変レベルの高い大会となった。審査の結果、『Prepared Speech』において、『Judging by OURSELVES』という題で裁判員制度についてスピーチをした、同志社大学の内藤恵一さんが優勝した。本学からは数本敬太さん(国際商学科2年)が出場し、入賞はしなかったが、『Prepared Speech』の内容で非常に良い評価を受けた。大会終了後には、レセプションを開き、審査員の先生方、出場者、本学のESS部員、他大学のESS部員との交流や、審査員の先生方から出場者が個人指導を受け、コメントをもらう場となった。今年は何年通りの内容で行われ、審査員の先生方や出場者、スタッフであるESSの部員全員の協力で、年1回の伝統行事を成功させることができた。大変なことも多かったが、大会後の出場者や応援者からの「良い経験になりました」「楽しい大会でした」という言葉を聞いて、大変嬉しく感じた。この経験を生かして、来年はさらに良い大会になるよう、部員一同頑張っていきたいと思う。



世界の厨房から

国際交流会ともだち 川添 健志(経済学科3年)

7月3日(金)、私たち国際交流会ともだちサークルの主催で毎年行っている『世界の厨房』を、今年も厚生会館3階多目的ホールにて開催いたしました。これは例年行っている行事の1つで在学中の留学生の各国の母国の料理を部員と留学生が協力して作り、皆で披露し合うというものです。この行事は、在学中の留学生だけでなく一般の学生や市民の方々にも参加していただき、多くの方々に国際交流をしてもらおうとするイベントです。

今回用意した料理は、日本の「たこ焼き」、トルコのお肉とたまねぎを使った伝統料理「ケフテ」、タイのココナッツミルクの香りとスパイスが効いた伝統料理「トムカーガイ」、オーストラリア独自の「クッキー」、韓国の「サムギョプサル」、中国は「餃子」や「チャーハン」などです。

今年は、カモンFMや下関市広報に宣伝していただいたおかげで、学外から200人近くの児童、来賓者の皆様にお越しいただき、盛大に催すことができました。

さらに、来日以来、留学生達がお稽古をしている「花柳流日本舞踊」を踊ってもらいました。最後の曲「世界にひとつだけの花」の演舞では、音楽に合わせて皆様に手拍子をしていただき、会場全体で盛り上がりました。留学生はこの日のために、一生懸命練習に励み、すばらしい舞を披露していました。

10月25日の学祭では、在学中の留学生による「日本語弁論大会」を開催し、国際交流を図りたいと考えています。ぜひ、ご来場ください。



2009(平成21)年度(春季)体育会サークル成績

少林寺拳法部

山口県少林寺拳法大会一般男子初段の部最優秀賞(大西智久、桑田俊介)・一般男子二段の部最優秀賞(藤瀬天魚、松岡賢弘)・一般男女有段の部最優秀賞(駒寿公子、大塚 大)

硬式庭球部

関北インカレ(春季)男子シングルス1位(木島隆裕)・2位(入江隼斗)・男子ダブルス1位(木島隆裕・入江隼斗)・3位(下野幸生・古谷智毅)・3位(藤本洋輔・桐林秀匡)・男子団体戦優勝

柔道部

中国四国学生柔道体重別選手権大会73kg級2位(溝渕拓也)

卓球部

中国学生卓球選手権春季大会女子シングルス第3位(道下知香)

男子バスケットボール部

春季中国大会 ベスト16 / 春季県リーグ 2部4位

女子バスケットボール部

山口県学生バスケットボール選手権大会3位

男子バレーボール部

中国大学バレーボールリーグ戦春季大会3部リーグ5位

中国四国学生バレーボール選手権大会ベスト8

北九州・下関地区大学体育大会バレーボール競技3位

山口県大学高専学生バレーボール選手権大会Bリーグ優勝

女子バレーボール部

山口県大学高専学生バレーボール選手権大会第3位

フットサル部

全日本大学フットサル選手権 山口県大会第3位

ソフトテニス部

下関市月例会団体男子優勝・団体女子優勝

空手道部

関北インカレ(春季)男子団体組手3位・男子個人型2位(石津諒太)

紫電流空手道部

紫電流空手道選手権個人組手1位(村上竜太)・2位(橋本拓馬)

文化会サークル成績

吹奏楽部

第50回全日本吹奏楽コンクール中国大会大学の部銀賞



少林寺拳法部

吹奏楽部

大学コンソーシアム関門 加盟大学による単位互換制度はじまる

教授 道盛 誠一(科目コーディネーター)

関門地域(北九州市および下関市)にある大学が相互に連携・協力することにより、関門地域の高等教育の充実および発展を図るとともに、地域社会へ貢献することを目的に掲げて、大学コンソーシアム関門が発足しました。2008年度に設立のための準備が行われて、同年12月24日に単位互換協定が調印されています。下関市側の加盟大学は本学と梅光学院大学で、北九州市側は北九州市立大学、九州共立大学、九州国際大学、西日本工業大学です。

今年度は、その運用が始まる年に当たります。具体的には、加盟大学が連携して特色ある教養教育を実施するものです。この単位互換制度のために新設されたコーディネイト科目5科目は、8月末から9月半ばにかけて集中講義方式で実施されました。

本学は、附属地域共創センターが北九州市立大学附属都市政策研究所と連携して企画した「関門地域の産業と経済」を提供しました。オムニバス方式のこの科目の冒頭3回は、両学の坂本学長(写真左)、矢田学長(写真中)、および西日本工大・菊池学長(写真右)の3学長講義から成るものです。梅光学院大学は「関門地域の文学」を提供、九州国際大学は「近代関門地域の産業発展」と「関門の近代化と遺産」の2科目を、九州共立大学は「関門の自然環境とそのエネルギー」を提供しました。

そのほか、加盟大学の特色ある科目を他大学の学生に開放することも行なわれ、北九州市立大学が1科目(「メディアの現場」)を提供しました。



2009年度 下関市立大学公開講座

①基礎から学ぶ中国語	講師:浅野雅樹講師
9/27～12/20 全12回	受講料:6000円 定員:30名
②中国語中級講座	講師:竇文特任教員
9/28～12/14 全12回	受講料:6000円 定員:20名
③English Presentation Basics	講師:Paul Collett特任教員
10/7～11/11 全6回	受講料:3000円 定員:20名
④韓国の企業経営20年史(1987～2007)	講師:中川圭輔講師
10/7～11/25 全8回	受講料:4000円 定員:10名
⑤起業入門	講師:平池久義教授
10/3～12/5 全6回	受講料:3000円 定員:10名
⑥下関歴史ブランド「和同開珎」	講師:櫻木晋一教授
9/30～10/21 全4回	受講料:2000円 定員:40名
⑦下関歴史ブランド「和同開珎」実習	講師:櫻木晋一教授
10/31 全1回 場所:長府博物館	受講料:1000円(入館料込) 定員:20名
⑧イギリス歴史の旅	講師:高田実教授
11/10～12/8 全5回	受講料:2500円 定員:なし
⑨沖縄から日本社会をみる	講師:太田周二郎教授
12/8 全1回	受講料:無料 定員:なし
⑩「三国志」と漢詩	講師:武井満幹講師
10/17～12/26 全5回	受講料:2500円 定員:なし
⑪「ジョゼフ・アンドルーズ」を読む	講師:雲島悦郎教授
10/2～12/18 全12回	受講料:無料 定員:20名
⑫地域問題にせまる	講師:吉津直樹教授
10/14～11/18 全6回	受講料:3000円 定員:なし
⑬豊かなセカンドライフのために	講師:外部講師
10/8～11/19 全4回	受講料:無料 定員:なし
開放授業【教養総合】事前申込:なし	
⑭地域社会問題へのチャレンジ	講師:複数
9/28～1/26 全14回	受講料:無料 定員:なし
開放授業【地域論】事前申込:なし	
⑮地域の変貌から地域を考える	講師:吉津直樹教授
9/28～1/26 全14回	受講料:無料 定員:なし

平成21年度 特待生

7月10日(金)、平成21年度特待生の表彰式が行われました。成績優秀者に認定される特待生として選出されたのは、2、3、4年生の各4名ずつに加え、留学生2名の計14名。特典として、授業料の半額免除や奨学金が与えられます。

表彰式では、経済学科4年の肥中さんを先頭に、1人ずつ、坂本学長から賞状が手渡されました。



行事記録 (2009年4月～9月)

- 4月 8日(水) 入学式
- 13日(月) 春学期授業開始
- 5月20日(水) 第1回就職ガイダンス
- 30日(土) 後援会総会
- 6月11日(木) 留学体験発表会
- 27日(土) 英語弁論大会
- 7月 3日(金) 「世界の厨房から」
- 10日(金) 平成21年度特待生表彰式
- 11日(土) オープンキャンパス
- 23日(木) 第2回就職ガイダンス
- 25日(土) オープンキャンパス
- 31日(金) 春学期定期試験(～8月10日)
- 8月 1日(土) 大学院中間報告会
- 7日(金) 地域合同消防訓練
- 10日(月) 国内インターンシップ開始
- 29日(土) 国際インターンシップ開始
- 31日(月) 大学コンソーシアム関門授業開始
- 9月12日(土) 大学院入学試験
- 28日(月) 秋学期授業開始
- 30日(水) 春学期卒業式

第48回 馬関祭の日程

テーマ: Raise a Revolution ～ 22世紀を今、見据えよう～

産業革命以来、自然環境が激変している今だから、22世紀を見据えた「環境革命」を!

大学祭を通して、環境について考えましょう。

日 程: 10月23日(金)～25日(日)

場 所: 本学キャンパス

公開シンポジウム「下関歴史ブランド『和同開珎』」(24日)、加藤ミリヤコンサート(25日)、花火大会(25日)など